

# G班 気仙医療圏 大船渡保健所

寶住 江川 生内 小原 深尾 金井 知花

## ①移動

国道396から、国道107号に行く山道のルート  
H班と事前にルートを分けて配分していた

権現堂交差点～リアスホールまで道路の液状化情報あったがそもそも避けていた

道路の液状化情報を確認に手間取った  
H班といったん定時連絡するとりきめがあったが  
そもそも互いに時間を間違えていた

- ・ 基本的にはトップダウンで動くべき
- ・ 結果的には信号がなく、近道だった
- ・ 道路状況の確認  
(保健所の連絡等を行うべきであった)



## ②到着

統括に入るまでの時間差が生じた

リーダーの経験の問題あり

来ました、立ち上げますぐらいの速度であるべきであった

## ③立ち上げ

組織図（command and control）が弱かった

本当はもっと上位から記述すべきだった

現地の機関との関係性

何が確保できて、何が確保できないのかの

確認を怠っていた

CSCAが大事



**④衛星携帯の連絡不具合**  
**部屋が北向き 延長ケーブル不調**  
**伝言ゲームになり、情報伝達に不具合**  
**雨でwidestarが不良**  
**メールの不通問題あり**  
**(FAXなどのようなやりとりが必要)**  
**イリジウムが案外使えた**

**H班との連絡が完全に定時連絡のみとなり、**  
**on timeでやりとりできる衛星電話環境が**  
**確立できなかった**



## ⑤避難所のアセスメントシート

予想以上の負荷

一度記入したものが見直せない

俯瞰できない

地の利がないので現地の方の協力が必須  
(消防の千葉さんありがとうございました)



## ⑥ チームの数詳細確認

- ・ 15 : 08 本部より前沢SAから20チームを同等に振り分けるとの連絡あり
- ・ その後災害対策本部より17日中に7チーム、18日4チームの派遣報告有
- ・ その後の確認で、前沢SAから7チーム派遣していないとの報告
- ・ DMAT 4チーム、前沢SAから大船渡に出動との報告有  
保健所か病院かの記録がクロノロになし  
大船渡病院にDMAT拠点立ち上がる（情報の確認不足）
- ・ その後派遣なし はやめに出動の確認を取り直せばよかった...

## ⑦三者会議

大船渡病院の立て直しについての手配

気仙訪問看護ステーションでの手配について、市役所の方、

Gチーム、Hチームでの会議

透析患者の搬送問題以外はおおむね解決がなされた

いろいろな事柄が決定がされたが、DMATの本部の方を呼べなかったため、管轄の不明瞭さが残った



## ⑧ 余震

当地方の損害状況に変化はなかった  
しかしながら再び通信の不備あり  
H班との連絡円滑に取れず





## まとめ

- ・今回は終始連絡状態の不備に終始した
- ・本部より衛星電話が外れた場所にあることで、内部でも情報の混乱があった
- ・インフラの整わないH班との連絡が細切れになったため、H班の状況把握が困難であった
- ・文書による記録の重要性
- ・ipadによるSCAT-GMの実用化に期待
- ・コミュニケーションの重要性の再確認

